

住友ゴム工業(株)加古川工場

環境保全対策実施報告書

1. 環境保全対策実施状況 (平成 30 年度)

(1) 大気汚染に係る対策

推進の内容	実施の成果
① ガスボイラーの最適運転により大気汚染防止に取り組む ア: ボイラーの定期整備 イ: 排ガスの定期測定 ウ: オンライン 24 時間監視システム エ: メンテナンス契約(メカ点検・整備等)	・ボイラーメーカーとの 24 時間監視システムによる運転管理と定期的なメーカー定期整備によりボイラーの適正な運転が出来ました。
★ ② 省エネ改善活動の推進 ア: 省エネ委員会の活動 イ: 蒸気, エア, 熱の漏れ箇所調査、修理 ウ: 生産性向上活動 エ: 老朽化ボイラーの更新 低圧ボイラー(4台)を高効率ボイラーに更新(平成29年2台実施済) ボイラーの更なる効率運転化の為に、IoT技術を使ったシステムも併せて導入。 オ: 工場内照明のLED化推進 カ: 空調機更新(平成 30 年 5 月) キ: 排水回収ろ過装置の導入 ク: 省エネタイプ変圧器(トランス)導入 ケ: IoT 技術を使った蒸気漏れ対策	・平成 30 年度は生産量増加および省エネ対策の結果、原単位は対前年比 94.8%となり、エネルギー使用率は良化しました。 平成 31 年度も継続して省エネ活動を行い、3 月末現在、原単位で 0.04%向上できています。 *原単位: 単位生産量当りのエネルギー使用 エ: 高効率ボイラーに更新する事で蒸気発生効率 2%向上。  オ: 蛍光灯⇒LED照明 (232 灯変更実施、工場内全 40%LED化済) カ: 代替フロン使用省エネ機種選定 6 台 (平成 29 年 19 台実施済。平成 31 年 4 台計画中)

	<p>キ：第3工場排水を濾過・回収・再使用する事で、工場全体排水量の18%削減。</p>  <p>ク：省エネタイプ変圧器（アモルファス磁石内臓、4台）の導入により励磁電力4,719kWh/年減を削減。</p> <p>ケ：加硫プレスにトラップ蒸気漏れを判断する温度センサーを取付。常時監視するシステムを導入。</p>
--	---

(2) 騒音・振動に係る対策

推進の内容	実施の成果
① 騒音発生源対策及び保安員による工場周辺パトロールの継続	<ul style="list-style-type: none"> 工場敷地境界における騒音は、規制値内にあります。 <p>(騒音測定地点は、添付資料参照下さい)</p>

(3) 悪臭に係る対策

推進の内容	実施の成果
① 定期測定時にパトロールを実施し、日常管理の強化。又、発生源対策として、溶剤系材料の使用量削減に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> 工場敷地境界における悪臭等は、規制値内にあります。

(4) 産業廃棄物に係る対策

推進の内容	実施の成果
① 廃棄物の分別およびリサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の徹底した分別と製品の仕損を削減し、ゼロミッションを継続しています。
② 化学物質(PCB)対策	<ul style="list-style-type: none"> 低濃度 PCB 処理済み(平成29年5月)。 高濃度 PCB の適切保管、JESCO 処理申請中。

(5) 緑化に係る対策

推進の内容	実施の成果
① 工場敷地内の緑地の維持管理	<ul style="list-style-type: none">・ 絶滅危惧種の育成管理でフジバカマの加古川河川敷への移植活動を行い、緑化環境の維持向上が図れた。 

(6) 地域連絡会

推進の内容	実施の成果
① 地域との交流	<ul style="list-style-type: none">・ 平成30年6月4日～8日「トライやるウィーク」で、陵南中学校から4名受入れ、体験職場も年々増やし、自社製品と触れ合ってもらいました。・ 平成30年3月1日～7日及び11月12日～16日にインターンシップで毎年恒例2校から4名を受け入れ、学校では体験出来ない内容で実習を行いました。・ 平成30年6月7日～29日に播磨特別支援学校(たつの市)1名を受け入れ、将来就職活動のに向けた体験実習を行いました。・ 平成30年11月16日～19日に西神戸高等特別支援学校工場実習。・ 平成30年6月12日 工業団地清掃参加。・ 平成30年9月 工業団地ボーリング大会参加。

(7) その他

推進の内容	実施の成果
① ISO14001 の維持	・ 10月更新審査完了、今後も継続的に環境改善に取り組んで参ります。
② 内部監査	・ 内部監査員スキルアップ研修実施。

2. 協定値と実績値の比較

(1) 大気関係

(実績値：最大値または年間総排出量)

項 目		協 定 値	実 績 値
窒素酸化物排出量	(Nm ³ /時)	0.7	0.27
	(t/年)	8.6	2.17

3. 環境保全活動

(1) 令和元年度（平成 31 年度）基本方針

項目	内容
基本方針	<p>「環境に優しい企業活動で、地球の未来を守ります」</p> <p>近年、環境問題は従来の地域社会的な問題から、地球規模という空間的な広がり、将来の世代にもわたる時間的な広がりを持つ問題となってきました。地球環境の保全は国際社会が共同で取り組むべき人類の課題であり、持続可能で環境負荷の少ない経済社会を構築していくことが重要であるとの認識のもとに住友ゴム工業株式会社ハイブリッド事業本部加古川工場は、社会に信頼される企業の基本的な責務として、全ての事業活動と企業市民としての生活を通して、総合的、創造的に地球環境の保全に取り組みます。</p> <p>～住友ゴム工業(株)ハイブリッド事業本部環境方針抜粋～</p>
組織体制	<pre> graph TD Manager[経営者] --- Eco[環境管理 (ECO) 委員] Manager --- HR[総務・人事課] Manager --- PM[経理・購買課] Manager --- M1[製造一課] Manager --- M2[製造二課] Manager --- Production[生産課] Manager --- Engineering[工務課] Manager --- Quality[品質管理課] Eco --- EcoComm[課 ECO 委員会] Eco --- EnergyComm[省エネルギー委員会] </pre> <p>・ハイブリッド事業本部長 ・加古川工場長</p>

(2) 令和元年度（平成 31 年度）環境保全活動計画

環境保全活動	目標	目標達成の為の計画、方策
化学物質対策	<ul style="list-style-type: none"> 化学物質の維持管理による使用量削減 	<ul style="list-style-type: none"> ① 化学物質の維持管理強化による使用量削減を行います。 ② 取り外した PCB 機器の適正保管を行い、化学物質の漏洩防止を実施。
エネルギー対策 (地球温暖化防止対策)	<ul style="list-style-type: none"> 法令及び協定の順守 エネルギー原単位対前年 5%削減 	<ul style="list-style-type: none"> ① 工程の生産性を向上させることにより、電力・蒸気原単位の改善を実施します。 ② 保温の強化拡充及びバルブ・トラップ・配管等の漏れ点検を強化し、迅速に修理を行います。 ③ 老朽化した空調機を高効率空調機に更新し、効率を 20～30% 上げ消費電力を削減します。 ④ IoT 技術を用いた設備稼働状況の遠隔監視を推進し、予防保全を強化します。
廃棄物対策	<ul style="list-style-type: none"> 法令の順守 廃棄物発生率（有価除く）対前年 2.0%削減 	<ul style="list-style-type: none"> ① 製品の仕損を削減して廃棄物発生量の削減に努め、引続きゼロエミッションを継続します。
騒音防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 法令及び協定の順守 	<ul style="list-style-type: none"> ① 騒音発生源対策及び保安員による工場周辺パトロールを継続します。
緑化対策	<ul style="list-style-type: none"> 緑地の維持管理 	<ul style="list-style-type: none"> ① どんぐりプロジェクトの推進。 ② 生物多様性保全活動拡大として「フジバカマ」「カガボテンツキ」「カガボノリモコウ」等の絶滅危惧種となっている植物育成を実施します。
悪臭対策	<ul style="list-style-type: none"> 法令及び協定の順守 	<ul style="list-style-type: none"> ① 定期測定時にパトロールを実施し、日常管理強化に努めます。また、発生源対策として、溶剤の使用量削減と水系化の転換を進めます。
土壌汚染対策	<ul style="list-style-type: none"> 法令及び協定の順守 	<ul style="list-style-type: none"> ① 浄化処理を継続します。又、定期測定結果を市環境政策課殿へ報告継続します。
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメントシステムの運用と推進 	<ul style="list-style-type: none"> ① ISO14001 環境マネジメントシステムの運用により、環境面での継続的改善を図って行きます。

<p>地域社会への参画</p>	<p>・地域社会との相互理解強化と環境保全活動への参画</p>	<p>① 例年通り「トライやるウィーク」による中学校生の受入れ実施。 ② 事業所周辺の清掃活動。</p>
<p>★ 周辺環境に影響を与えるおそれのある事故等発生時の地元への広報等</p>	<p>・事故等の事態に係る情報を広く市民に周知する。</p>	<p>① 関係官庁へ迅速な報告を実施するとともに、加古川市のHP、防災メール、ツイッター等を通じ広く情報発信を行っていきます。</p>

添付資料： 工場配置図及び騒音測定場所

